

大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和 8年2月4日 No. 22 文責：校長 河野 太郎

昔のおもちゃにチャレンジ（1年生）



「先生、けん玉上手になったよ。見て。」

1年生の教室に入ると子どもたちの元気な声が聞こえてきました。

1月30日（金）は、1年生が楽しみにしていた「昔のあそび体験」でした。この日は、北地区支え合い協議体の皆様18名に、昔の遊びの紹介と遊び方を教えていただきました。遊びの種類も多く、「メンコ・けん玉・こま・竹とんぼ・あやとり・羽子板・お手玉」の7種類。バラエティに富んだそれぞれの遊びを、子どもたちはグループに分かれて回っていました。

「こうやってやるとうまくできるよ。」

「なかなか上手ですね。」

協議体の人たちから教えてもらおうと、子どもたちは何度も遊びにチャレンジしていました。方法がわかってきて、上手にできるようになると友達と見せ合ったり、協議体の人に見てもらったりと得意気です。

あっという間の2時間。1年生はとても楽しい時間を過ごすことができました。協議体の皆様には、

ご多用の中子どもたちのために時間をつくっていただき、本当にありがとうございました。



小笠原流礼法（6年生）～菊花結びに挑戦



同じ日、6年生は小笠原流礼法の「菊花結び」に挑戦しました。南アルプス市では、郷土の文化で、武士の礼儀作法にルーツをもつ小笠原流礼法について学習を進めています。地域の武将である小笠原長清公にもかかわるこの礼法は、相手のことを考えた礼儀作法で、礼の仕方、茶碗や箸の持ち方、扉の開け方などについて1年生から6年生までが、実際に体験をしながら学びます。

毎回師範の先生にきていただき、作法を教わりますが、今

回は「菊花結び」という紐飾りを作成しました。赤い紐を使って作るのですが、昔から魔除けとか疫病退散などの意味があり、お守りのような役割をしていたようです。また赤い紐で作るので、華やかさもあり、お祝いの場所などで使われることも多かったようです。

6年生は、ここ数年菊花結びの紐を身につけて、卒業式に参加しています。自分で作った飾りを身につけて、堂々とした姿で卒業式に参加してほしいと思います。

1～3年生の授業参観・学年部会がありました

2月3日（火）、1～3年生の授業参観と学年部会が行われました。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、子どもたちの学習の様子、学校での様子を参観したり活動に参加していただいたりのご協力ありがとうございました。

この日の授業は、1年生が「凧作り」、2年生が「私の名前の由来」、3年生が「漢字カルタ」でした。1年生と3年生は保護者の皆様にも参加していただき、お子さんと一緒に楽し



む授業となりました。特に1年生は、凧のデザインを一緒に考え、クレヨンや色鉛筆などで色塗りをして完成させるまで、保護者の皆さんと一緒に作りしました。家の人と一緒に考えて作成した凧が完成すると、どの子も本当に嬉しそうでした。



3年生の漢字カルタは、グループになって保護者と一緒に札を取る遊びでした。最初のうちは、まだ札が多くて余裕の表情を見せていた子どもたちですが、枚数が少なくなると、さらに一生懸命になりました。カードが取られる度に、一喜一憂の声が聞こえてきました。

2年生は、自分の成長を振り返る学習の中で、自分の名前について調べてきました。おうちの人に、自分の名前にどんな意味が込められているのかを自分でインタビューし発表する活動でした。それぞれがインタビューしてきたことを発表しましたが、自分の名前のよさを感じるいい時間になったと思います。

終了後はこの一年間の成長について、それぞれの部会で話をすることができました。子どもたちの一年間の頑張りを確認できましたし、引き続いての課題も明確になり有意義な時間となりました。

学年部長さんをはじめ役員の皆様はもちろん、保護者の皆様には、それぞれの学年経営にご協力をいただきありがとうございました。

